PCA 建設業会計シリーズ
Ver.1.0 Rev.6.21プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

FKM_S_261116

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◇ 自動仕訳の工事・工種対応

- 「自動仕訳の登録」「汎用データの受入」にて、自動仕訳の明細に工事・工種を指定して登録可能になりました。
- 自動仕訳が利用可能な各処理において、明細に指定された工事・工種が反映されるようになります。

◇ インボイス経過措置対応

- 「消費税申告書・付表」「電子申告」において、「令和8年10月1日以後終了課税期間」の新様式および「70%控除税区分」の計算に対応しました。
- 「消費税申告書・付表」の新様式対応に伴い、［申告書項目］の追加や名称変更、AI-OCRに対応したデザインへの変更、新様式出力時のカラー印刷およびOCR印刷の廃止を行いました。

◇ 『PCA Hub 経費精算』の仕様変更への対応

- 『PCA Hub 経費精算』のプロジェクト名が50文字に拡張されたことを受け、『PCA 建設業会計』から工事名を転送する際に、文字数をカットせず転送するようになりました。

◇ 製品共通機能改善

- 製品起動時のバージョン不一致メッセージについて、バージョン表記からリビジョン表記に変更しました。
- 管理者製品アップデート通知ダイアログから、一括バックアップ処理を起動できるようにしました。
- バージョン情報ダイアログの表示項目に「セットアップタイプ」「ログオンユーザー」を追加しました。

◇ アップデート管理機能強化（PCAクラウド・PCAサブスクのみ）

- クライアントアップデートを管理機能からのみアップデート可能とする機能を追加しました。

◇ その他

- 「汎用データの受入」にて、予約伝票の受入で「工事入力」が「しない」の勘定科目に工種が指定されている場合はエラーとなるように修正しました。

互換性に関する変更点

◇ データ領域の更新について

- データ領域のバージョンを「1.39」に更新しました。

以下のデータ構造を変更しました。

- 自動仕訳内容

新規領域作成時に登録するデータを追加しました。

- 消費税申告書設定項目

◇ APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、エンティティバージョンを更新しました。

- 日報データ（エンティティバージョン「200」）
- 日報データの検索条件（エンティティバージョン「200」）

◇ 汎用データレイアウトの変更について

以下の汎用データレイアウトを変更しました。

- 自動仕訳（Ver6）